

# ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2022

---

第21回 シーニックバイウェイ北海道推進協議会

令和5年12月12日



# ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2022



Scenic Byway HOKKAIDO

平成20年度よりシーニックバイウェイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動であり、将来への発展性が高く評価できる取り組みを選出し表彰する「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト」の取り組みを実施。

2021

～知らなきゃ損！2人目が無料～  
「ふたりぼっちパスポート」事業  
(十勝シーニックバイウェイ・トカプチ雄大空間ルート)



2020

～景観阻害物を撤去して再利用！～ 景観向上に向けた雑木伐採  
と資源のリユースプロジェクト (支笏洞爺二セコルート)  
オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト  
(萌える天北オロロンルート)



2019

～「はこだて花かいどう」での一年を通じた継続的な取り組み～  
函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」  
(函館・大沼・噴火湾ルート)



2018

どうなん道の駅連携事業  
(どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



2017

～地域・電線管理者と連携した「電線の見えない化」～  
ビューポイントパーキングの景観改善 (電線移設)  
(支笏洞爺二セコルート)



2016

いにしえ街道の景観を活かした街づくり  
(どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



## <表彰>

- 活動団体賞 1 件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 12件】
- 部門賞 4 件（指定ルートを対象）

### <エントリー部門>

- 美しい景観づくり賞 【エントリー数 6件】
- 活力ある地域づくり賞 【エントリー数 2件】
- 魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 4件】

※部門賞は、部門毎に 1 件とし最大 3 件とするが、評価の結果によってはこの限りではない。

- 最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2022」1 件（指定ルートを対象）  
部門賞の中から 1 件選出（評価の結果によってはこの限りではない。）

## <評価の視点>

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

### －部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度を評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取り組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成

## ▼各賞決定までの流れ

募集開始



各ルートから活動の応募



### ■ 活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出



### ■ 部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出



推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

# 活動団体賞候補〔エントリー12件〕



Scenic Byway HOKKAIDO

部門	NO	ルート名称	活動名称	点数	主なコメント
美しい景観づくり	①	支笏洞爺ニセコルート	～地域協働による20年の道づくり～ 千歳ウェルカム花ロード ver. 2.0	19	植樹活動で壁となる資金の捻出を企業協賛の他、クラウドファンディングにて成功している点や、20年間継続している取組が評価できる。
	②	東オホーツクシーニックバイウェイ	R243シラカバ並木区間の沿道清掃活動	5	秀逸な道の認定区間の昇格に向けて、秀逸な道の候補区間をたくさんメンバーで活動しているのが素晴らしい。
	③	東オホーツクシーニックバイウェイ	R334秀逸な道区間 オオイタドリ刈る狩る作戦	6	オオイタドリ繁茂は全道各地の課題。こうした活動の成果は全道でも共有することが大事だと感じた。
	④	函館・大沼・噴火湾ルート	～自然の植生復元に向けた森づくりとCO2の吸収～ 次世代につなぐ「シーニックの森」づくり	12	森林再生による各森林の自然環境を守り、SDGsに繋げることも目的にした取組が、今後道内各地区に広がる予感がします。
	⑤	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート	札幌市南区の冬を美しい光で彩る 「冬の雪あかり」の取り組み	26	地域との協働による賑わい創出と相互協力関係の活動が評価できる。北の都として、冬の暮らしに潤いと訪れる方へのおもてなしの活動として北海道を感じさせる良い取り組みだと思う。
	⑥	知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ	峯浜パーキング剪定・清掃活動	10	事前にしっかり調査をしたうえで、植栽の剪定や清掃活動などの大変な作業に取り組んでいることを評価した。
地域活動あり	⑦	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	道の駅で情報発信！リッチでニッチな大作戦	1	ニッチ層は「特化」と置き換えられる。ターゲットを絞る好先例である。様々な工夫された情報発信が参考になる。
	⑧	萌える天北オロロンルート	自転車ツーリング事業	30	◎ 高校存続の課題解決に、生徒・先生が主体となって取り組み、出願数増加やルート活性化など成果をだしている。学校のみならず地域住民も地元愛を深める機会になったと思われる。
魅力ある観光空間づくり	⑨	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	～組織が！企業が！地域が！ルートが！ぐっと連携した～ くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施	22	ルート、組織、企業、地域などを超え広く連携し、改善しながら平成23年から継続して展開されている点が評価できる。シーニックカフェの増加に向けた取り組みをさらに進めていく活動を期待したい。
	⑩	どうなん・追分シーニックバイウェイルート	～高規格道路整備によるByway空間の創生とサイクルツーリズム～ サラキ岬の歴史等資源を活かした観光空間づくり	5	継続した取り組みであり、北海道のゲートウェイとして木古内駅を中心にシーニックの顔たる活動として評価できる。
	⑪	天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ	きた北海道エコ・モビリティの推進 地域のブランド化に向けた取り組み	20	すっかりとおなじみになった両ルート連携の取り組みの発展性に評価、期待が持てる。一次、二次交通の脆弱者を逆手に取った活動ということで、悪い点を如何に生かすという発想が他ルートにも求められる。
	⑫	【候補】空知シーニックバイウェイ-体感未来道-	～そらち「道の駅」×空知シーニックバイウェイ×かわたび～ 「ソラ★スタ」2022スタンプラリー	4	・空知は、関係する自治体も多く範囲が広い中で、人を呼び込む魅力あるチャレンジに取り組んでいると感じた。今後の期待も込めて、今回の評価をした。

# 活動団体賞

活動名称 自転車ツーリング事業

エントリー部門

活力ある地域づくり賞

ルート名称 萌える天北オロロンルート

## ①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

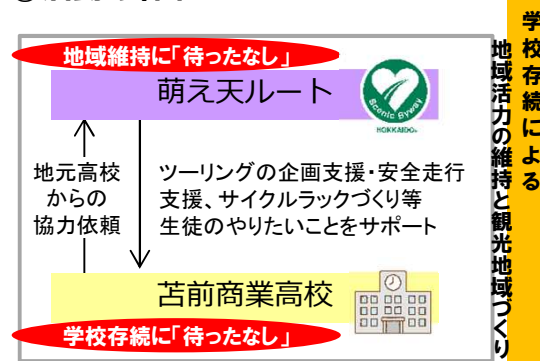
### ●活動の目的・目標：

- ・道立苫前商業高等学校は、平成28年度から**入学者数の減少による廃校の危機に瀕している**
- ・**学校存続および地域活力の維持に向け、苫前町を学びPRする取組を教員・生徒一丸で実施**
- ・アウトドア観光が留萌管内各所で注目される中、令和元年度より**萌え天ルートも「サイクリスト応援・プロジェクト」で観光地域づくり**
- ・地元高校生が学校や地域を広くPRするため「自転車ツーリング事業」を企画。地元を良く知る萌え天と学校がタッグを組み、**学校存続による地域活力の維持と観光地域づくりを達成すべく、「自転車」をキーワードとする協働のまちづくりを展開**

●活動内容：自転車ツーリング事業の企画（地域資源のレクチャー）・走行支援（伴走やエイド）

●活動期間：令和3年度～**※継続実施中**

## ②活動の体制



自転車をキーワードとする協働のまちづくり

- ・自転車ツーリング事業の企画段階ではコース選定や立ち寄り先を紹介
- ・事業当日は2泊3日寝食を共にしながら、安全走行のための伴走やエイドの設営などをフルサポート(令和3年及び令和4年)
- ・苫前商業高校と協働でサイクルラックを製作
- ・高校生がオススメする町内施設にサイクルラックを協働で設置

北緯45度モニュメント (幌延町)

しよさんべつ天文台 (初山別村)

令和4年7月26日～28日  
苫商～天塩～遠別～苫商 (約215km)

オロロンライン (小平町)

令和3年7月26日～28日  
苫商～深川～幌加内～苫商 (約220km)

霧立峠 (苫前町)

●宿泊地

過去2カ年のツーリング事業の行程

## ③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- 将来の留萌の応援団をつくる投資とシーニックバイウェイの次世代育成**  
お互いが**全力で向き合うことで大人世代のモチベーション向上と、将来世代の育成という理念**の下、取組を実施。



留萌への愛着

将来の留萌応援団の形成

例)観光客として「里帰り」や移住・定住  
例)SBWを担う次世代

【活動による効果】

- 苫商のPRに寄与（出願数が3倍超）**
- 高校生と一緒に活動することで、ルートメンバーのモチベーションの高まりや地域団体との交流も生まれルートが活性化。**
- 地域の将来ビジョンづくりを後押し**

出願数が前年比の3倍となり、高校再編危機を回避(R4入学者)

# 部門賞① 美しい景観づくり部門候補〔エントリー 6件〕



No.	活動名【ルート名】	点数	評価意見
1	～地域協働による20年の道づくり～ 千歳ウェルカム花ロード ver. 2.0 【支笏洞爺二セコルート】	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングの活用、小学校における特別授業など持続可能性を向上させる取り組みである。</li> <li>・ガーデンフェスタの影響が大きいかもしれないが、協賛金、クラウドファンディングによって、積極的に資金集めを行っている点が評価できる。</li> <li>・“おもてなしの心”を花で表現する取り組みから20年、現在は活動のエリアを地域外まで広げており、長期計画的に取り組んでいる点が評価できるポイント。また、小学校や市民、企業、行政等、多様な機関の連携が取れた活動であり、良好な景観の形成が継続的に行われている。</li> <li>・20年にわたる地道な活動を通じて、世代・組織の枠を超えた地域協働を実現している。小学校での授業を含めて丁寧なプロセスを踏みながら、多様な関係者の参加を促している点が評価できる。さらに、クラウドファンディング等により活動資金を確保し、継続的な取り組みを目指している点も評価できる。</li> </ul>
2	R243シラカバ並木区間の沿道清掃活動 【東オホーツクシーニックバイウエイ】	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秀逸な道の実質化を目標とする取り組み。今後の参考になる先進例としての意味は大きい。</li> <li>・エリアを3つに区切り、無理なく環境美化を行う参加者への配慮を評価。景観資源の質の維持・向上が図られているという点から、今後活動の広がり期待。</li> </ul>
3	R334秀逸な道区間 オオイタドリ刈る狩る作戦 【東オホーツクシーニックバイウエイ】	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の悩みであるオオイタドリ大作戦。冬の除雪とのカップリングのアピールも是非。</li> <li>・良好な走行景観・眺望景観を確保する為、大変手間のかかるオオイタドリの伐採を地域住民と協働で行った点を評価。活動による効果も見られており、今後更なる発展がある様に感じる。</li> <li>・地道な取組であるが、オオイタドリのような背の高い植物の刈込みは非常に浪江浴がかかる。</li> </ul>
4	～自然の植生復元に向けた森づくりとCO2の吸収～ 次世代につなぐ「シーニックの森」づくり 【函館・大沼・噴火湾ルート】	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンオフセットだけでなく、森自体をどう活用するかといった中長期的視点も是非、活動計画に入れていただきたい。</li> <li>・長期、継続的な活動が評価できる。</li> <li>・13年の活動の継続、また世界規模で課題となっているSDGsの取り組みにも積極的な点が評価のポイント。様々な機関・地域住民との連携も見られることから、活動の広がりが感じられる。</li> <li>・10年以上活動が継続していることにまず敬意を表したい。</li> <li>・植樹するという行為だけでなく、森林再生やSDGsの活動としても結実していることは、この取り組みに多くの人が参加するモチベーションになっていると思うし、継続する理由だろうと感じる。</li> <li>・森づくりは、今の時代、ルートのブランディングには欠かせません。それを長年継続し、下草刈りなどの維持管理もおこなうのは大変なこと。さらに、発展的な取り組みへの展開を期待したい。</li> </ul>
5	札幌市南区の冬を美しい光で彩る 「冬の雪あかり」の取り組み 【札幌シーニックバイウエイ 藻岩山麓・定山溪ルート】	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術の森、定山溪、市立大、その他の地区間の連携をさらに強化し、周遊性を向上させることも視野に入れていただきたい。交通サービスやその負担など課題は多数あるだろうが、ご検討いただきたい。</li> <li>・多くの地区において、長期継続的活動が評価できる。・ルートのほぼ全域で展開されている為、活動参加者も多いことから、取り組みの認知度の高さが伺える。組織や世代の枠を超え、協力的に活動している点を評価。新たな賑わいの創出と観光客誘致を目指している点から、冬以外の季節でも更なる発展を期待したい。</li> <li>・景観づくりが立体的に機能して、さまざまな波及を生んでいることが素晴らしいと感じた。</li> <li>・札幌なので、人口も観光も他の地域の比べて優位であるが、これだけ多くの活動団体をつなげて目玉として打ち出せる力は目を見張るものがある。札幌の冬の景観イメージの定着に期待したい。</li> <li>・各地区の独自性に配慮しつつ、地区共通のイベントとして交流・連携を図り、南区全体で幻想的な景観を演出している点が評価できる。広報戦略や関係機関との連携をはじめ、イベントとしての完成度が高い。</li> </ul>
6	峯浜パーキング剪定・清掃活動 【知床ねむる北太平洋シーニックバイウエイ】	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽の剪定・清掃活動を行定期的に行う事で、良好な景観を保全している点を評価。原因のゴミのポイ捨て対策として、地域内外にどう働きかけていくか、今後の活動の展開が楽しみである。</li> </ul>

# 美しい景観づくり賞

活動名称 地域協働による20年の道づくり～千歳ウェルカム花ロード ver.20

エントリー部門 美しい景観づくり

ルート名称 支笏洞爺ニセコルート

## ①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●「千歳ウェルカム花ロード」は、北海道の空の玄関口を子どもたちと一緒に花で飾り、国内外から訪れる方々へ「おもてなしの心」をあらわそうと、平成15年に(社)千歳青年会議所の発案で始まった活動です。活動開始から20年、今年はお隣の恵庭市で開催された全国都市緑化フェア（ガーデンフェスタ 2022）のメイン会場とサンフィニティ桃色吐息の花苗をあわせ、エリア一体でのおもてなしの沿道を演出。協賛金やクラウドファンディングなど多くの皆様にご協力をいただき新千歳空港周辺の道を彩りました。

- 活動内容：①土起こし：5月17日、  
②花植え：IC:5月24日、道道:5月10日～24日、国道ABCエリア:5月24日 ※花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）  
③除草：6月28日、7月12日、26日、9月6日  
④花苗の撤去：10月18日  
【参加人数】①83名 ②554名 ③200名 ④52名

●活動期間：平成14年度（SBW試行期間）  
～令和4年度（20年目）

## ②活動の体制

千歳ウェルカム花ロード ver.20  
主催：千歳ウェルカム花ロード実行委員会  
（(一社)千歳青年会議所・北海道開発局札幌開発建設部  
・北海道空知総合振興局札幌建設管理部・千歳市  
・東日本高速道路(株)



## ③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- ・ガーデンフェスタ 2022 のスポット会場に登録。エリアメンバーが活動しているメイン会場と花苗をあわせ、おもてなしの沿道を演出。
- ・千歳市内の企業をはじめ570,000円協賛金を応援いただいた他、平成28年度よりクラウドファンディングの挑戦を継続。401,000円のご協力をいただいた。

【活動による効果】

- ・小学校、市民ボランティア、花植え団体、企業、行政（千歳市、北海道、自衛隊、札幌開建）が、世代や組織の枠を超えた交流が生まれた他、多様な機関の連携・協力により活動を継続している。

\*クラウドファンディングはプロジェクトの実現など「ある目的」のために、インターネットを通じてプロジェクトに共感した不特定多数の人から資金の出資や協力を募ることをいいます。



▲千歳ウェルカム花ロード ver20ポスター

恵庭・千歳のエリア連携によりお揃いのお花でおもてなし！



▲ガーデンフェスタ2022 メイン会場（恵庭市）

## Step1 花ロード特別事業（千歳小学校・緑小学校）



▲千歳青年会議所 おもてなしのお話 ▲北海道・札幌開発建設部による道のお話 ▲フラワーマスター 花植えの方法

## Step2 土起こし・植栽



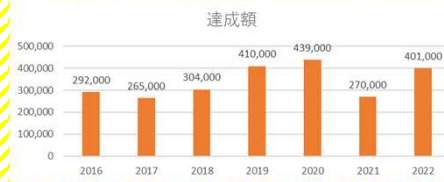
▲北海道日本ハムファイターズB★Bも参加

## Step3 除草・花苗撤去



▲維持会・千歳市・札幌開発建設部と連携 ▲ANA新千歳空港(株)も参加

## クラウドファンディングの変遷



▲平成28年からチャレンジを開始、毎年チャレンジを継続し、千歳の地域資源のPRを行うとともに、多くの方々に、応援いただいております。

Instagram  
はじめました！



WELCOMEHANAROAD



# 美しい景観づくり賞

別紙1

活動名称

札幌市南区の冬を美しい光で彩る「冬の雪あかり」の取り組み

エントリー部門

美しい景観づくり

ルート名称

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

## ①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

### ●活動の経緯：

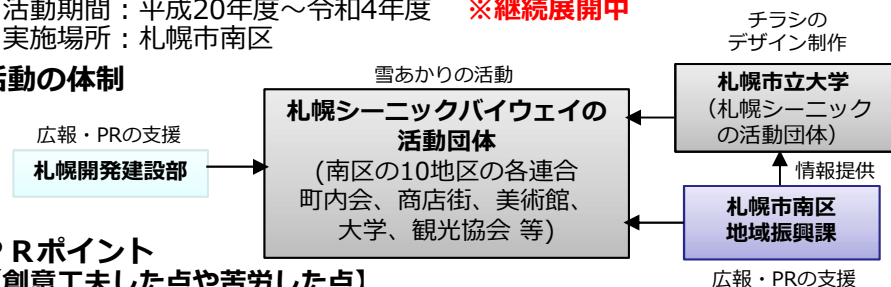
札幌シーニックバイウェイの候補ルートを立ち上げた際に、札幌市南区内で開催されていた冬季イベントの情報交換を目的とした「雪あかり交流会」（2008年（平成20年）12月）をきっかけにルート連携活動として始まった。ルートのほぼ全域で展開されており、参加団体も非常に多く、活動主体によって取り組み状況が異なっているのが特徴である。

### ●活動の目的・目標：

石山地区の「石山スノーファンタジー」は、町内会連合会と商店街が中心となり地域住民と協働で、街と商店街の活性化、並びに、**地域コミュニティ意識の醸成を図る**ことを目的に行われている。  
 芸術の森地区の「雪あかりの祭典」は、町内会、美術館、大学などが連携し世代を超えて活動しており、**相互の協力関係の構築**を目指している。  
 「定山溪地区」の定山溪温泉雪灯路は、定山溪観光協会が各宿泊施設が個別に行っていたキャンドル点灯の活動を1箇所を集め、**冬の温泉街におけるイベントとすることを目的**に始まった。雪と神社と温泉という景観を形成することで、**新たな賑わい創出と観光客の誘致促進**を目指している。

- 活動内容：設置・点灯（毎年12月上旬～3月下旬）
- 活動期間：平成20年度～令和4年度 ※継続展開中
- 実施場所：札幌市南区

## ②活動の体制



## ③PRポイント

### 【創意工夫した点や苦労した点】

元々、地域ごとに、参加団体や取組状況が異なっていたため、広報・PRを個別で行っていたが、**札幌シーニックバイウェイ全体の取組として、南区地域振興課がイベント情報を取りまとめ、札幌市立大学がチラシをデザイン制作**することで、イベントを一斉に広報・PRできるようになった。

### 【活動による効果】

札幌シーニックバイウェイの活動団体の多様な地域住民や企業、団体が参加することにより、**美しい景観づくり**に加え、**住民や関係団体の交流、相互の協力関係の構築、新たな賑わい創出**をもらたしている。また、活動を一斉に広報・PRすることにより、**観光客の誘致と促進**に繋がっている。

## <冬の雪あかり>

札幌市南区の各地区（10地区）において、地域の様々な方々の取り組みにより、スノーキャンドルやアイスキャンドル、イルミネーションなどを点灯するほか、雪だるまや雪像の設置などを行い、幻想的なキャンドルの景色を楽しむ冬のイベントである。



▲雪あかりチラシは、毎年、札幌市立大学の学生によってデザイン制作されている



真駒内地区



芸術の森地区



澄川地区



石山地区



藻岩地区



藻岩下地区



定山溪地区



藤野地区



南沢地区



簾舞地区

# 部門賞② 活力ある地域づくり部門候補〔エントリー 2件〕



Scenic Byway HOKKAIDO

No.	活動名【ルート名】	点数	評価意見
1	道の駅で情報発信！リッチでニッチな大作戦 【釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ】	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅とSBWとの連携を一貫して取り組んできた集大成としての応募。いずれも、細やかな地域ならではのアイデアと継続的な実行力により施化をあげていて、高く評価できる。</li> <li>充実した活動とは思いますが、2017, 2021に部門賞を受賞しているので、減点した。</li> <li>道の駅に地域情報を充実させた事で、訪れた人々が興味を持っているという声が上がっている点から、活動が地域内外への浸透しているように感じる。</li> <li>情報提供の充実はピカイチ。「より道トクする」の内容が知りたかった。</li> </ul>
2	自転車ツーリング事業 【萌える天北オロロンルート】	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>苫前商業を巻き込んだ挑戦的な取り組み。すでに志願者数3倍増という成果を得ているが、未だ始まったばかりという印象。今後も着実に積み重ね、教育効果の発現やひいては地域の次世代人材育成につなげていっていただきたい。</li> <li>学校存続へ向けた取り組みの将来性について評価できる。大人”と”学生”がタッグを組み、地域活力の維持と観光地域づくりに対し計画的且つ共同的に取り組んでいる点を評価。廃校の危機にあった学校がこの取り組みを通し、出願率3倍に増やした結果も出ており、地域のますますの活性化に期待。</li> <li>学校との連携による学生の参加は、将来の活動を支えるものとして期待でき、結果学校存続にも貢献したという、とても良い事例として提示してくれるものと感じました。</li> <li>国道の魅力化とともに、高校の存続という地域の悲願が認められた取組。高校生の頑張りも結果に表れており、シーニックバイウエイを契機とした地域活性化のモデルケース。</li> <li>ルートメンバーと地元高校が連携・協働することにより、高校の魅力化とルート活性化を同時に進めている意義深い取り組みである。将来世代の育成という点でも他ルートにとって参考になる事例。</li> </ul>

# 活動団体賞

活動名称 自転車ツーリング事業

エントリー部門

活力ある地域づくり賞

ルート名称 萌える天北オロロンルート

## ①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

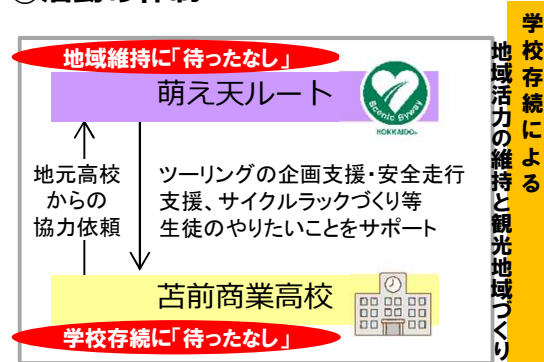
### ●活動の目的・目標：

- ・道立苫前商業高等学校は、平成28年度から**入学者数の減少による廃校の危機に瀕している**
- ・**学校存続および地域活力の維持に向け、苫前町を学びPRする取組を教員・生徒一丸で実施**
- ・アウトドア観光が留萌管内各所で注目される中、令和元年度より**萌え天ルートも「サイクリスト応援・プロジェクト」で観光地域づくり**
- ・地元高校生が学校や地域を広くPRするため「自転車ツーリング事業」を企画。地元を良く知る萌え天と学校がタッグを組み、**学校存続による地域活力の維持と観光地域づくりを達成すべく、「自転車」をキーワードとする協働のまちづくりを展開**

●活動内容：自転車ツーリング事業の企画（地域資源のレクチャー）・走行支援（伴走やエイド）

●活動期間：令和3年度～※継続実施中

## ②活動の体制



自転車をキーワードとする協働のまちづくり

- ・自転車ツーリング事業の企画段階ではコース選定や立ち寄り先を紹介
- ・事業当日は2泊3日寝食を共にしながら、安全走行のための伴走やエイドの設営などをフルサポート(令和3年及び令和4年)
- ・苫前商業高校と協働でサイクルラックを製作
- ・高校生がオススメする町内施設にサイクルラックを協働で設置

北緯45度モニュメント (幌延町)

しよさんべつ天文台 (初山別村)

令和4年7月26日～28日  
苫商～天塩～遠別～苫商 (約215km)

オロロンライン (小平町)

令和3年7月26日～28日  
苫商～深川～幌加内～苫商 (約220km)

霧立峠 (苫前町)

●宿泊地

過去2カ年のツーリング事業の行程

## ③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- 将来の留萌の応援団をつくる投資とシーニックバイウエイの次世代育成**  
お互いが**全力で向き合うことで大人世代のモチベーション向上と、将来世代の育成という理念**の下、取組を実施。



将来の留萌応援団の形成

例)観光客として「里帰り」や移住・定住

TEAM

例)SBWを担う次世代

【活動による効果】

- 苫商のPRに寄与（出願数が3倍超）
- 高校生と一緒に活動することで、ルートメンバーのモチベーションの高まりや地域団体との交流も生まれ**ルートが活性化。**
- 地域の将来ビジョンづくりを後押し

出願数が前年比の3倍となり、高校再編危機を回避(R4入学者)

# 部門賞③ 魅力ある観光空間づくり部門候補〔エントリー 4件〕



Scenic Byway HOKKAIDO

No.	活動名【ルート名】	点数	評価意見
1	～組織が！企業が！地域が！ルートが！ぐっと連携した～ くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施 【釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ】	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的なスタンプラリー。年々、ラリー参加者が増加し、高い水準を維持していること。産業や地域活動団体の参加も増加していることが評価できる。・多様で勢力的な取組みは評価に値する。</li> <li>・十数年の取り組みの中で、年々工夫と改善が見られ、より良い活動に展開されている点を評価。他機関との連携、協働も見られ、益々発展されるように感じる。</li> <li>・平成23年からのスタンプラリーを飽きられないように継続していることが注目される。今後は、この数字を大きく突破する取り組みにも期待したい。"</li> </ul>
2	～高規格道路整備によるByway空間の創生とサイクルツーリズム～ サラキ岬の歴史等資源を活かした観光空間づくり 【どうなん・追分シーニックバイウェイルート】	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点の整備に重点が置かれている印象。線から面への拡大にも是非取り組んでいただきたい。</li> <li>・継続的な取組みは評価に値する。</li> <li>・サイクリングコースの認知による自転車周遊の増加から、活動認知度向上への努力を評価。主体としているチューリップフェア以外の活動も計画している点から、今後も魅力溢れる空間づくりに期待したい。</li> <li>・高齢化が進む中で、100名の参加者があるのは、次世代への強い意志を感じる。チューリップをキーに、背相交代への取り組みを進めていただきたい。</li> <li>・植栽・清掃活動、サイクルツーリズム、地元史のPR等、多種多様な活動により観光空間づくりを進めている点が評価できる。様々な地域資源が統一的な空間に結実するようなブランディングを期待したい。</li> </ul>
3	きた北海道エコ・モビリティの推進 地域のブランド化に向けた取り組み 【天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ】	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ルート連携によるサイクルツーリズムの好事例。ただ、地域への経済効果はまだまだの印象であり、もう少し市場拡大とブランド化を進めていただきたい。</li> <li>・そうや単独ではあるが、きた北海道エコモビリティで数度の受賞があるので、減点した。</li> <li>・活動の認識を高める努力を行った結果、道内外の参加者増加や、様々な新聞にも掲載されたという点を評価。今後のビジョンとして、地域外へも活動の賛同を働きかけ、エリア全体でより一層楽しませる空間づくりを計画しているという点に、更なる期待をしたい。</li> <li>・実施した施策のスケールの大きさと、その分関わるステークホルダーも大変多いことが予想され、これをやり遂げたこと自体がまず素晴らしいと思う。またコアなファンに刺さる企画濃度の濃さと、パブリシティに繋がる切り口になっており、今後の展開も期待できるものだと感じました。</li> <li>・自転車へのフォーカスが明確で、えりも岬からの広域をつないだイベントも非常に大きなインパクト。これからの展開が楽しみ。</li> <li>・2つのSBWルートを結びつけることにより、「北海道縦断ライド」という訴求力の高い企画を実現しており、新しい地域ブランドを発掘している点が高く評価できる。ルート間の連携・協力事例として他のエリアにも参考になる。</li> </ul>
4	～そらち「道の駅」×空知シーニックバイウェイ×かわたび～ 「ソラ★スタ」2022スタンプラリー 【候補】空知シーニックバイウェイ-体感未来道-	対象外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空知管内全体で協力し、まちを活性化しようと取り組む点を評価。1500名近くも完走しているという結果から、活動の広がりが感じられ、今後も発展していくように感じる。</li> </ul>

# 魅力ある観光空間づくり賞

活動名称 **きた北海道 エコ・モビリティの推進** 地域のブランド化に向けた取り組み エントリー部門 **魅力ある観光空間づくり**

ルート名称 **天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ**

## ①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

- 目的・目標／体験型観光と個人旅行のニーズを含め、一次交通の衰退や二次交通の脆弱さを逆にとり、地域にとってプラスとして、地域資源に触れ・遊び、移動そのものが観光となる新しい旅のスタイル『きた北海道エコ・モビリティ』を広域で連携・推進  
⇒その一つの形として、**自転車を軸としたイベントを“地域ブランド”として定着させ、地域への経済効果・周遊性向上へ繋げる**

●活動内容／**地域ブランドの確立を目指す広域サイクリングイベント**  
**TEPPEN-RIDE 5th Anniversary**  
&  
**襟裳岬から繋げた初の試み 北海道縦断ライド**

自然豊かな道北の魅力伝える、旭川～稚内を結ぶ広域サイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」の5回目の記念開催。企画・当日の運営は両SBWルートが主体で行い、募集チラシの作成やサイト等も活用して広報を行った。  
新たな取組みとして、北海道サイクリング協会主催のえりも岬～旭川のサイクリングイベント「とんがりライド」と開催時期等を調整し、南から北までを繋いだ『北海道縦断ライド』も行い、3名が完走した。両イベントとも同じ旅行会社によるツアー商品として販売したため、縦断する参加者の引継ぎや細やかな連絡対応等ができ、参加者から好評であった。



- 活動期間／7月～（広報物作成・PR）  
9月22日～24日（イベント実施）  
12月～（次年度の計画・準備）
- 活動範囲／きた北海道エリア  
(天塩川SBW、宗谷SBW、近隣市町村)



②活動の体制 =

実施主体 **きた北海道エコ・モビリティ**  
**天塩川シーニックバイウェイ(事務局)**  
**宗谷シーニックバイウェイ**

【協力・連携】 常に密に情報共有  
きた北海道サイクルツーリズム連携協議会／(一社)  
シーニックバイウェイ支援センター／北海道エコ・モビリティ研究会／北海道開発局 旭川開発建設部・稚内開発建設部／その他(地域活動団体、自治体、企業等)

## ③PRポイント

- 【総意工夫した点】  
・北海道サイクリング協会と連携し、双方の募集チラシに情報を掲載し、参加者層の拡大を狙った。  
・自転車店舗でも配布、記者投げ込みも行い、多くの人へ届くような広報手法を検討した。
- 【活動による効果(成果)】  
・初めて参加される方が多く、道内各地の他、東京や大阪からの参加者もいた。  
・北海道新聞、毎日新聞、北都新聞等で実施内容が記事になり、活動のPRIに繋がった。
- 【今後の展開】  
●ナショナルサイクルルートを目指し、旭川市や比布町、サイクリング協会等を含む「きた北海道サイクルツーリズム連携協議会」主催によるイベントとし、両ルートは協力・連携となる体制づくり。  
●周辺地域の自治体や企業等へ活動への賛同を働きかけ、エリア全体でサイクリング環境・受け入れ態勢を強化。  
●サイクリングとその他のアクティビティを組合せて楽しめる「R3ツアー」の旅も紹介し、TEPPENに参加している家族や友達も一緒に宗谷岬まで楽しめる企画を検討。

## ▼活動団体賞

〔エントリー12件〕

### 自転車ツーリング事業

(萌える天北オロロンルート)

## ▼部門賞

### ①美しい景観づくり賞

〔エントリー6件〕

～地域協働による20年の道づくり～

#### 千歳ウェルカム花ロード ver. 2.0

(支笏洞爺ニセコルート)

札幌市南区の冬を美しい光で彩る

#### 「冬の雪あかり」の取り組み

(札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルート)

### ②活力ある地域づくり賞

〔エントリー2件〕

### 自転車ツーリング事業

(萌える天北オロロンルート)

### ③魅力ある観光空間づくり賞

〔エントリー4件〕

きた北海道エコ・モビリティの推進

#### 地域のブランド化に向けた取り組み

(天塩川シーニックバイウエイ×宗谷シーニックバイウエイ)

## ▼最優秀賞「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト」 ルート審査委員会から次のプロジェクトが推薦

### ○自転車ツーリング事業 (萌える天北オロロンルート)

#### ■選出理由及び今後の発展に向けての期待

- ・地元に根付いた活動であり、特に心惹かれた。今後、どのように継続的に行われていくかが重要。
- ・地元の高校の危機を救うために地域を巻き込むというアイデアが素晴らしい。志願者が増えたという点で非常に注目を浴びたが、高校の存続というのは地域にとっても重要な課題である。そこにシーニックバイウェイを絡ませたというアイデアが素晴らしい。
- ・地元の高校を救うことができたということが大きな成果であり、貢献であるといえる。